✿こどもの予防接種✿

定期予防接種（予防接種法に基づく予防接種）

※対象者には予診票を個人通知いたします

予防接種名＜ワクチン種類＞		回数	公費接種対象者	標準的な接種期間	予診票配布時期
インフルエンザ菌ｂ型（ヒブ） ＜不活化ワクチン＞		最大4回	生後2か月以上5歳未満 接種開始月により接種回数等が異なる	生後2～7か月で開始 追加接種4回目は、3回目接種後7～13か月あける	生後1か月～ 1か月半頃
小児肺炎球菌 ＜不活化ワクチン＞		最大4回	生後2か月以上5歳未満 接種開始月により接種回数等が異なる	生後2～7か月で開始 追加接種4回目は、3回目接種後60日以上あけて、生後1歳～1歳3か月で接種	
B型肝炎 ＜不活化ワクチン＞		3回	1歳未満	生後2～9か月に接種	
ロタ ＜経口生ワクチン＞ １価か５価どちらかを選択します	1価	2回	生後6週～24週	<u>初回接種：生後14週6日までに接種</u> この期限を過ぎると接種できなくなります。	
	5価	3回	生後6週～32週		
４種混合 （百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ） ＜不活化ワクチン＞		4回	生後2か月以上7歳6か月未満	<u>生後2か月で開始</u> **※令和5年4月より、接種開始時期が「生後3か月」から「生後2か月」へ変更になりました。** 1回目～3回目は生後3か月～1歳までに接種 追加接種4回目は、3回目終了後12～18か月あける	
５種混合 （百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ・ヒブ） ＜不活化ワクチン＞		4回	生後2か月以上7歳6か月未満	<u>生後2か月で開始</u> 1回目～3回目は生後3か月～1歳までに接種 追加接種4回目は、3回目終了後12～18か月あける **※令和6年4月より、定期接種となりました。** ※すでに４種混合ワクチンとヒブワクチンの接種をはじめているお子様は、原則として同一ワクチン（４種・ヒブ）で接種を行います。	
BCG（結核） ＜生ワクチン＞		1回	1歳未満	生後5～8か月で接種	
みずぼうそう ＜生ワクチン＞		2回	1歳以上3歳未満	1回目の接種は12～15か月で接種 2回目の接種は1回目終了後6～12か月あける	1歳の誕生日前
麻しん風しん混合（MR）１期 ＜生ワクチン＞		1回	1歳以上2歳未満		
麻しん風しん混合（MR）2期 ＜生ワクチン＞		1回	小学校就学前(年長児)		4月初旬
日本脳炎１期 ＜不活化ワクチン＞		3回	生後6か月以上7歳6か月未満	1回目・2回目は3～4歳で接種 追加接種3回目は4～5歳で接種	3歳の誕生日前
日本脳炎２期 ＜不活化ワクチン＞		1回	9歳以上13歳未満	9～10歳で接種	9歳到達の翌月
二種混合（ジフテリア・破傷風） ＜不活化ワクチン＞		1回	11歳以上13歳未満	11～12歳で接種	11歳到達の翌月
日本脳炎特例対象者 （積極的に勧奨していなかった時期の未接種者） ＜不活化ワクチン＞		最大4回	平成16年4月2日～平成19年4月1日生まれの方 **1期・2期の不足分最大4回を20歳未満の間に接種できます。**		窓口発行 または 郵送対応
子宮頸がん ＜不活化ワクチン＞ **※令和5年4月から９価ワクチン（シルガード）が、定期接種となりました。**		2回 または ３回	＜定期接種対象者＞ 小学校6年生から高校1年生相当の女子 対象となるワクチン ：2価（サーバリックス）・4価（ガーダシル）・**9価（シルガード）** 接種回数 2価・4価…3回 9価…11～14歳は2回、15～16歳は3回 **※高校１年生の年度末が期限となりますので、期限内に3回接種するためには高校1年生の9月までに接種を開始していただく必要があります。**		小学6年生のみ 3月末送付
		最大3回	＜積極的に勧奨していなかった時期の未接種者＞ **・平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女子** 対象となるワクチン ：2価（サーバリックス）・4価（ガーダシル）・9価（シルガード） **<u>※令和7年3月31日までの期限で公費接種が終了となります。</u>**		

任意予防接種（市内接種は無料）

予防接種名＜ワクチン種類＞	回数	接種時期・対象者		予診票配布時期
おたふくかぜ1期 ＜生ワクチン＞	1回	1歳以上2歳未満		1歳の誕生日前
おたふくかぜ2期 ＜生ワクチン＞	1回	小学校就学前(年長児)		4月初旬
インフルエンザ ＜不活化ワクチン＞	2回	＜接種時期＞ 毎年10月1日～1月31日	未就学児（10月1日時点で満1歳～年長児）	9月中旬
	1回		15歳（年度末時点での年齢）	
	1回		18歳（年度末時点での年齢）	